

4. 火災の実態

1 火災の概要

令和5年中の火災は、出火件数2,105件、損害額7,296,399千円、死者数69人、建物焼損床面積50,602㎡、建物焼損表面積4,871㎡、林野焼損面積2,346a、焼損棟数1,452棟、り災世帯数866世帯、り災人員1,846人となった。前年と比較した火災の状況は次のとおりである。

なお、令和5年中の火災の発生を一日当たりでみると、出火件数 約5.8件、損害額 約19,990千円、死者数 約0.2人、建物焼損床面積 約138.6㎡、建物焼損表面積 約13.3㎡、林野焼損面積 約6.4a、焼損棟数 約4.0棟、り災世帯数 約2.4世帯、り災人員 約5.1人である。

区 分	令和5年 ㉑	令和4年 ㉒	対前年増減数 ㉓ = ㉑ - ㉒	増減率 $\frac{㉓}{㉒} \times 100$ (%)
出火件数	2,105	1,833	272	14.8
建物火災	983	940	43	4.6
林野火災	83	59	24	40.7
車両火災	182	138	44	31.9
船舶火災	4	2	2	—
航空機火災	0	0	—	—
その他火災	853	694	159	22.9
焼損棟数	1,452	1,379	73	5.3
り災世帯数	866	889	-23	-2.6
り災人員（人）	1,846	1,917	-71	-3.7
焼損面積				
建物床面積（㎡）	50,602	38,062	12,540	32.9
建物表面積（㎡）	4,871	4,727	144	3.0
林野（a）	2,346	579	1,767	305.2
損害額（千円）	7,296,399	3,723,302	3,573,097	96.0
建物火災	5,556,686	3,489,774	2,066,912	59.2
林野火災	1,355	308	1,047	339.9
車両火災	192,510	108,666	83,844	77.2
船舶火災	6,762	1,635	5,127	313.6
航空機火災	0	0	—	—
その他火災	1,536,901	121,753	1,415,148	1,162.3
爆発	2,185	1,166	1,019	87.4
死者（人）	69	64	5	7.8
負傷者（人）	273	297	-24	-8.1

（注）ア 建物火災とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

イ 林野火災とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

ウ 車両火災とは、原動機によって運行することができる車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

- エ 船舶火災とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
 オ 航空機火災とは、航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
 カ その他の火災とは、アからオまでに掲げる火災以外の火災をいう。
 キ 爆発とは、人の意図に反して発生し又は拡大した爆発現象をいう。

2 出火件数

(1) 総出火件数は、2, 105 件で前年と比べて272件増加している。これを火災種別でみると、次のとおりである。

種別 年	総出火件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
令和5年	2,105 件 (100.0%)	983 件 (46.7%)	83 件 (3.9%)	182 件 (8.7%)	4 件 (0.2%)	0 件 (0.0%)	853 件 (40.5%)
令和4年	1,833 件 (100.0%)	940 件 (51.3%)	59 件 (3.2%)	138 件 (7.5%)	2 件 (0.1%)	0 件 (0.0%)	694 件 (37.9%)

(2) 月別出火件数

月別出火件数は、次のとおりである。火災は、12月から2月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	224	240	206	131	160	113	181	177	129	142	150	252	2,105

(3) 出火率

出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、県平均 約3.35件となっている。

3 損害額

火災による損害額は7,296,399千円で、前年比3,723,302千円（96.0%）増加した。また、1日当たりでは 約19,990千円（前年 約10,201千円）、1件当たりでは 約3,466千円（前年 約2,031千円）となっている。

4 出火原因

出火原因別火災発生件数は、次のとおりである。

総出火件数	放火・放火の疑い	たき火	たばこ	こんろ	火入れ	その他
2,105 件 (100.0%)	255 件 (12.1%)	210 件 (10.0%)	200 件 (9.5%)	124 件 (5.9%)	172 件 (8.2%)	1,144 件 (54.3)

※その他には、上記以外の出火原因21区分及び不明・調査中を含む

5 死傷者の実態

(1) 死傷者数

火災による死者は69人、負傷者は273人で、前年に比べて死者は5人増加（前年比7.8%

増) し、負傷者は24人減少(前年比8.1%減)した。

(2) 火災種別にみる死傷者数

火災種別ごとの死傷者発生状況は、次のとおりである。

火災種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
死者数	52 (75.4%)	0 (0.0%)	8 (11.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (13.0%)	69 (100.0%)
負傷者数	226 (82.8%)	2 (0.7%)	14 (5.1%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	30 (11.0%)	273 (100.0%)

(3) 月別の死傷者数

月別死傷者数は、次のとおりである。死傷者は、12月から3月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
死者数	8	10	13	1	4	7	5	1	3	3	5	9	69
負傷者数	42	25	21	25	19	18	27	21	15	15	18	27	273

(4) 年齢層別の死者数

年齢層別死者数は次のとおりであり、61歳以上が全体の約8割を占めている。

区分	0歳～ 20歳	21歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳～ 70歳	71歳 以上	不明	合計
死者数	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	5 7.2%	7 10.1%	11 15.9%	42 61.0%	2 3.0%	69 100.0%

(5) 死因別死者数

死因別死者数は次のとおりであり、死者は、火傷で多く死亡している。

区分	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折等	自殺	その他・不明	合計
死者数	13 18.8%	17 24.6%	1 1.4%	16 23.3%	22 31.9%	69 100.0%